



第11回

日本子ども社会学会大会

抄録集

2004

2004年6月
第1日 / 12日(土)
第2日 / 13日(日)

九州大学

大会日程

前 日 6月11日(金)

15:30 - 16:50 会計監査 (福岡リーセントホテル)
17:00 - 理事会 (福岡リーセントホテル)

第1日 6月12日(土)

9:00 - 受 付
9:10 - 9:20 開会式(102教室)
9:30 - 12:00 研究発表
12:00 - 12:40 昼食 各種委員会・評議会
12:40 - 13:25 総 会(102教室)
13:30 - 15:30 研究発表
15:40 - 17:40 ワークショップ・ラウンドテーブル
18:00 - 20:00 懇親会(福岡リーセントホテル)

第2日 6月13日(日)

9:00 - 受 付
9:30 - 12:00 研究発表
12:00 - 13:10 昼 食
13:20 - 16:00 公開シンポジウム
16:10 - 16:20 閉会式(大講義室)

*** 各部会・ワークショップ等の教室は、5頁をご参照下さい。**

ご案内

1. 会場 九州大学 箱崎文系地区 文系講義棟
【連絡先】 〒812-8581 福岡市東区箱崎6-19-1
九州大学教育学部 地域教育社会学研究室気付
日本子ども社会学会第11回大会実行委員会
TEL&FAX : 092-642-3124 (住田研究室)
092-642-3125 (院生研究室)
E-mail : mitsuedu@mbox.nc.kyushu-u.ac.jp
【大会期間中の連絡先】 TEL : 090-6638-7419 (大会実行委員会)
なお、大会期間中は、大会本部 (講義棟106教室) に大会実行委員会事務局員が待機しております。

2. 受付 大会第1日、第2日ともに9:00より、会場1階入口にて行います。
(会場案内図をご参照ください)
【大会参加費】 学会員 3,500円 臨時(当日)会員3,000円
【懇親会費】 5,000円 (福岡リーセントホテルにて)

3. 研究発表 個人(1人)発表20分・質疑応答5分、共同(複数)発表40分・質疑応答10分とします。発表時間を厳守してください。なお、レジュメを用意される方は、60部以上ご用意下さい。万一不足の場合、大会本部ではコピー等しかねますのでご了承ください。

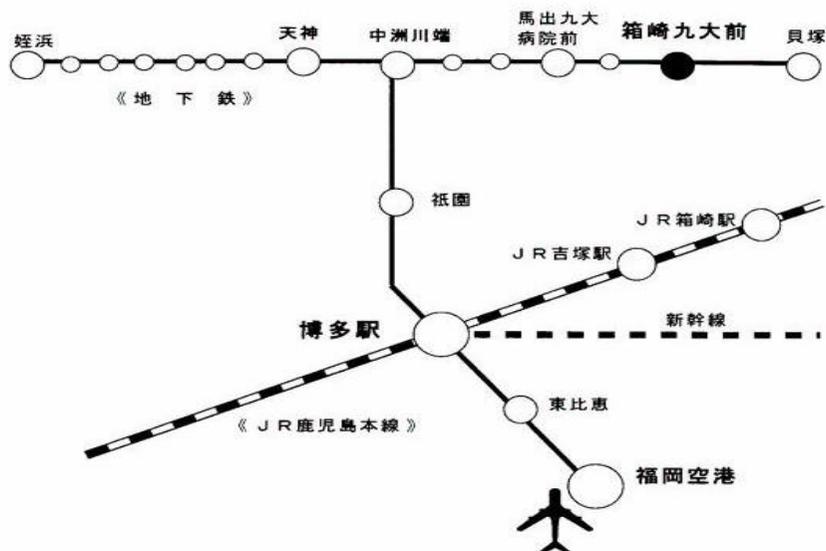
4. 発表取消(欠席) 発表を取消(発表者が欠席する)の場合には、大会前日(6月11日)までに上記の大会実行委員会にお知らせください。
なお、発表取消については、『学会ニュース』にその旨を掲載します。

5. 図表及びプリント等 研究発表の図表・プリント等は、分科会名・氏名を明記し、各分科会の係まで発表当日、早めにご提出下さい。

6. クローク及び 大会期間中のクロークは105教室、会員控室（休憩室）は206教室と会員控室なっております。いずれも利用できる時間は、1日目が9:00-18:00、2日目が9:00-14:30までとなっております。

* 学会事務局 〒812-8581 福岡市東区箱崎6-19-1
九州大学教育学部地域教育社会学研究室気付
TEL & FAX 092 - 642 - 3125
郵便振込口座 01760 - 1 - 85048（学会費納入はこちらへ）
ホームページ <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jscs2/>

《 大会会場へのアクセス 》



会場へは地下鉄箱崎九大前駅から徒歩 10 分のところにあります。

福岡空港から地下鉄で箱崎九大前まで。約 23 分。290 円。

JR 博多駅から地下鉄で箱崎九大前まで。約 15 分。250 円

* 天神・姪浜・唐津方面の電車に乗る場合は、
中洲川端駅で「貝塚行き」に乗り換えてください。

バスご利用の場合。

九大北門と博多・天神とを結ぶバスがあります。

ご乗車前に箱崎の「九大北門」行きであるかどうか確認してください。

博多駅 博多駅交通センター 1F から 29 番のバス。「九大北門」下車(約 25 分)
220 円

天神 福岡中央郵便局前バス停から 4 番、21 番、22 番、23 番、26 番、27 番、
28 番のバス。「九大北門」下車(約 20 分) 220 円

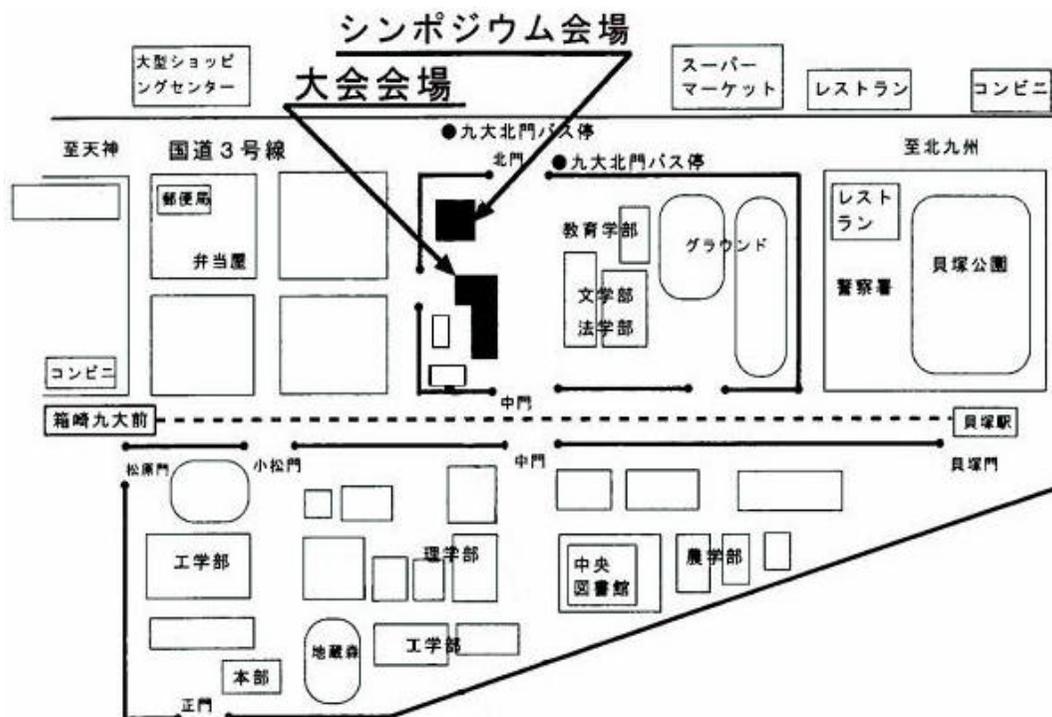
* 23-A など、アルファベット表示のついたバスは、「九大北門」に停車いたしませんので、ご注意ください。

* 地下鉄天神駅と福岡中央郵便局前バス停は歩いて 5 分の距離です。

詳しい時刻表などについては <http://www.nnr.co.jp/bus/>

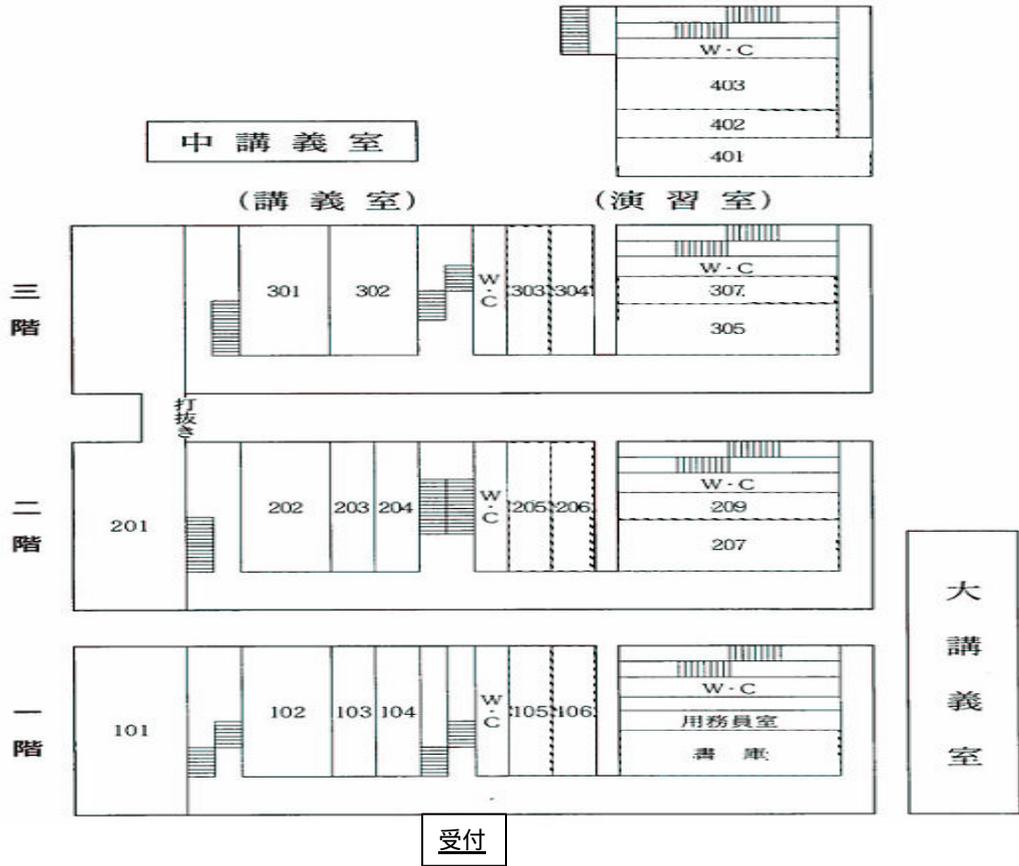
JR 箱崎駅から会場まではやや距離があり、道も分かりにくくなっております。その場合は、タクシーをご利用ください。「九大北門まで」とお告げください。

〈 会場案内 〉



大学周辺にレストラン・コンビニが数店あります。
コピーについてはコンビニをご利用ください。

《 大会会場 》



- | | | | |
|------------|------------|--------|------------|
| - 1 102 教室 | 総 会 | 102 教室 | - 1 102 教室 |
| - 2 202 教室 | ワークショップ | 102 教室 | - 2 202 教室 |
| - 3 203 教室 | ラウンドテーブル 1 | 202 教室 | - 3 203 教室 |
| - 4 204 教室 | ラウンドテーブル 2 | 203 教室 | - 4 204 教室 |
| - 1 102 教室 | ラウンドテーブル 3 | 204 教室 | |
| - 2 202 教室 | ラウンドテーブル 4 | 207 教室 | 公開シンポジウム |
| - 3 203 教室 | | | 大講義室 |
| - 4 204 教室 | | | |

大会本部 106 教室 クローク 105 教室 会員控室 206 教室

* 大会会場は全て禁煙となっております。

研究発表
1 部会

6月12日(土)
9:30 12:00
102 教室

育 児

司 会 木村 敬子(聖徳大学)
 青井 倫子(愛媛大学)

- 9:30 - 9:55 子育てと母親の心の成長
 - 臨床心理学的一考察 -
 志満 慈子(大阪大学大学院)
- 9:55 - 10:20 育児観と父親の育児参加
 山瀬 範子(九州大学大学院)
- 10:20 - 11:10 育児不安に関する国際比較研究()
 - 母親調査から -
 三枝 恵子(埼玉県立松山高等学校)
 馬場 康宏(東京成徳短期大学)
 深谷 野亜(松蔭大学)
 神田 和恵(フリーランス・エディター)
 深谷 昌志(東京成徳大学)
- 11:10 - 11:35 育児不安に関する国際比較研究()
 - 父親調査から -
 深谷 野亜(松蔭大学)
 三枝 恵子(埼玉県立松山高等学校)
 朴 珠鉉(東京家政大学大学院)
 馬場 康宏(東京成徳短期大学)
 深谷 昌志(東京成徳大学)
- 11:35 - 総括討論

研究発表

2部会

6月12日(土)

9:30 12:00

202 教室

子どもの意識と行動

司 会 新富 康央(佐賀大学)
樋田大二郎(聖心女子大学)

9:30 - 9:55 小学生の自己表現・主張行動に関する日韓比較
金 慶美(名古屋大学大学院)

9:55 - 10:20 子どもの悩みごとの対処の仕方と心理的問題
- 東京都親子関係調査より -
谷 詩織(お茶の水女子大学)
無藤 隆(白梅学園大学)

10:20 - 11:10 周産期の夫婦関係と子育て(第四報)
田村 毅(東京学芸大学)
倉持 清美(東京学芸大学)
木村 恭子(共立女子短期大学)
及川 裕子(埼玉県立短期大学部)
岸田 泰子(島根大学)
荒牧美佐子(お茶の水女子大学)
森田 千恵(東京ウィメンズ・プラザ)

11:10 - 総括討論

研究発表
3 部会

6月12日(土)
9 : 30 12 : 00
203 教室

児 童 文 化

司 会 畠山 兆子 (梅花女子大学)
坂元 一光 (九州大学)

- 9 : 30 - 9 : 55 韓国の子どもの歌の成立と童謡のかかわり
- 戦前の韓国の幼稚園で使われていた楽譜集を中心にして -
裊 珉卿 (日本女子大学大学院)
- 9 : 55 - 10 : 20 「学校文化」からの自由
- 街頭紙芝居の再計画 -
鈴木 常勝 (立命館大学非常勤)
- 10 : 20 - 10 : 45 「児童文化」成立のメルクマールは何か
- 大正期童謡運動を対象にして -
岩田 遵子 (新潟県立新潟女子短期大学)
- 10 : 45 - 11 : 10 <非 - 母親>子守唄の社会的背景
鶴野 祐介 (梅花女子大学)
- 11 : 10 - 総括討論

研究発表
4部会

6月12日(土)
9:30 12:00
204 教室

学 校

司 会 飯田 浩之(筑波大学)
村上 光朗(鹿児島国際大学)

- 9:30 - 9:55 学校における<型>=<形>の教育と子どもたち
林 毅(大阪大学大学院)
- 9:55 - 10:20 学校への肯定的意味づけに関する一考察
石井 久雄(明治学院大学)
- 10:20 - 10:45 せめぎあう退学観
- 教育困難校でのアクティヴ・インタビューの結果から -
古賀 正義(中央大学)
- 10:45 - 11:10 「生徒」化する大学生
- 大学生を「子ども」として分析するための覚書 -
浜島 幸司(上智大学大学院)
武内 清(上智大学)
- 11:10 - 総括討論

研究発表

1 部会

6月12日(土)

13:30 15:30

102 教室

子どもたちの世界

司 会 岡崎 友典(放送大学)
押谷 由夫(昭和女子大学)

- 13:30 - 13:55 大人の子どもに対する行動傾向
- 志向性との関連から -
清水 一巳(九州大学大学院)
- 13:55 - 14:20 中学生の仲間集団における維持のダイナミクス
池田 曜子(奈良女子大学大学院)
本山 方子(奈良女子大学)
- 14:20 - 14:45 小学生のきょうだい関係について
磯崎三喜年(国際基督教大学)
- 14:45 - 15:10 子どもは何故組織的スポーツへ参与するのか
- 子どもが生きる時間に着目して -
山本 清洋(鹿児島大学)
山口 恵子(鹿児島市立谷山小学校)
- 15:10 - 総括討論

研究発表

2部会

6月12日(土)

13:30 15:30

202 教室

子どもたちの世界

司 会 上杉 孝實(龍谷大学非常勤)

竹内 通夫(金城学院大学)

13:30 - 14:20

放課後の子どもたち

- 北海道から沖縄までの16地点での子どもたちの暮し -

高旗 正人(中国短期大学)

西本 裕輝(琉球大学)

深谷 和子(東京成徳大学)

稲葉 和子(富山県福岡町立福岡小学校)

上島 博(奈良県御所市立葛城南小学校)

太田 佳光(愛媛大学)

片岡 徳雄(土佐女子短期大学)

三枝 恵子(埼玉県立松山高等学校)

住田 正樹(九州大学)

土橋 稔(世田谷区立松沢小学校)

永井 聖二(東京成徳大学)

秦 政春(大阪大学)

深谷 昌志(東京成徳大学)

須田 康之(北海道教育大学)

山本 武夫(元仙台市立向山小学校)

山縣 文治(大阪市立大学)

雪江 美久(東北福祉大学)

14:20 - 14:45

街角から子どもを見る

- バンコク・サイアムスクエアおよび東京・渋谷における観察から -

木口 順子(創価大学大学院)

14:45 -

総括討論

研究発表

3 部会

6月12日(土)

13:30 15:30

203 教室

中学生・高校生

司 会 南本 長穂 (関西学院大学)
黄 順姫 (筑波大学)

- 13:30 - 13:55 高校部活動における指導者の役割
- 大学生を対象とした回顧調査の分析を中心に -
長谷川祐介(広島大学大学院)
- 13:55 - 14:45 放課後の高校生
三戸 香代(北里大学)
片山 悠樹(大阪大学大学院)
- 14:45 - 15:10 韓国中高校生の親子・友人関係についての意識調査にみる少子社会
の特徴と課題
- 静岡県中高校生規範意識調査との比較から -
馬居 政幸(静岡大学)
李 明熙(韓国国立公州大学校)
大 伯大(韓国慶熙大学校)
外山 智徳(静岡大学)
阿部 耕也(静岡大学)
磯山 恭子(静岡大学)
- 15:10 - 総括討論

研究発表
4部会

6月12日(土)
13:30 15:30
204 教室

ジェンダー

司 会 金崎芙美子(宇都宮大学)
和田 正人(東京学芸大学)

- 13:30 - 13:55 生活科とジェンダー
杉野 陽子(栃木市立栃木第五小学校)
- 13:55 - 14:20 共同行為としてのジェンダー
片田孫朝日(京都大学大学院)
- 14:20 - 14:45 子ども向けアニメーションにおけるジェンダー
村瀬ひろみ(九州大学大学院)
- 14:45 - 15:10 少女雑誌に見る少女の<身体文化>
東野 充成(九州大学大学院)
- 15:10 - 総括討論

ワークショップ

6月12日(土)

15:40 17:40

102 教室

子どもの放課後の現状を考える - 学会試行調査のデータをもとに -

司 会 深谷 昌志 (東京成徳大学)

話題提供 秦 政春 (大阪大学)
山縣 文治 (大阪市立大学)
須田 康之 (北海道教育大学)

指定討論 住田 正樹 (九州大学)

ラウンドテーブル1
(土)

6月12日

15:40 17:40

202 教室

文芸のなかの子どもをどうとらえるか？

コーディネータ	原田 彰（呉大学）
問題提起	山田 浩之（広島大学）
	白松 賢（愛媛大学）
	中田 周作（広島国際大学）

一定の時代によく読まれ見られる小説、映画、テレビドラマ、マンガなど、いわゆる「文芸」のなかに描かれた子どもは、その時代の子どもを表現し、時には時代による子どもの変化を先取りしていると考えられる。この命題は、「文芸の社会学」の中核をなすものでもある（ここでは、「反映」とか「規定」という言葉が使われることが多い）。しかし、その表現や先取りのしかたは、文芸のジャンルによって異なるように思われるが、実際にはどうなのだろうか。これが、コーディネーターの第一の問いかけである。「文芸のなかに描かれた子ども」は、たとえば「研究者が観察・調査してとらえた子ども」、すなわち「研究者の観察や調査によって描かれた子ども」と同じなのだろうか、違うのだろうか。一定の時代のなかで、両者はどんな関係にあるのだろうか。これが、第二の問いかけである。この問いかけにかかわって（あるいは、かかわらずに）、3人の問題提起者がそれぞれ独自に「文芸のなかの子どもをどうとらえるか？」をめぐる提案を行う。

教育 / 保育場面における子どもの活動の解釈可能性と選択的解釈

コーディネータ	本山 方子 (奈良女子大学)
司 会	本山 方子 (奈良女子大学)
話 題 提 供	掘越 紀香 (大分大学)
	市川 洋子 (お茶の水女子大学大学院)
	砂上 史子 (弘前大学)
指 定 討 論	村瀬 公胤 (信州大学)

幼稚園や学校における子どもの活動の解釈は、いくつかの可能性ある解釈からいかに選択されているのか、その選択はなぜ起こるのかについて、議論したい。

出来事の意味づけは全く無作為に行われるわけでも、恣意的に行われるわけでもない。Bruner(1990/1999)によれば「われわれが言うことの意味と、ある状況下でわれわれが行うこととの間には、了解された標準的な関係」があるとされる。つまり、可能な解釈のうち、当事者や解釈者、読み手にとって了解可能性が高いものが採用されているのだろう。

では、なぜ了解可能性が生じるのだろうか。例えば、出来事が生成する場の意味への期待、場で適切とされるふるまいの出現への期待、行為の意味への期待、解釈者の自己認識と場での位置づけなどが、暗黙的に解釈に影響を及ぼしていないだろうか。解釈として語られることのほかに、当然視され語られないのはどのようなことだろうか。また、文脈の捉え直しは、解釈者の経験に照らしてどのようになされているだろうか。

本ラウンドテーブルでは、2名の話者提供者がそれぞれ幼稚園と中学校での観察場面をビデオ映像で提示し、議論の素材とする。調査者自身が作成記録と解釈過程を提示し省察する一方で、非観察者の話者提供者はビデオ映像のみから記録作成と解釈を行う。それぞれの解釈過程を比較しながら、解釈のよりどころを出現させ、上記の問いに迫りたい。

現代社会のなかのジェンダーイシュー
- ジェンダー・フリー教育を巡って起きている論争の背後にあるもの -

代表コーディネータ	近藤 弘(立教大学)
コーディネータ	岸沢 初美(川崎市立看護短期大学)
	近藤 弘(立教大学)
	春日 清孝(明治学院大学非常勤)
	望月 重信(明治学院大学)
趣旨説明	望月 重信(明治学院大学)
話題提供	春日 清孝(明治学院大学非常勤)

いま、ジェンダーが「漂流」している。ジェンダー・フリーが「有害」だということである。男女共同参画の中でもジェンダーという言葉が使用されてきた。「0歳からのジェンダー・フリー」が発信されている。家庭科教育の新課題としてジェンダー・エクィティを拓く実践も盛んである。家族生活や家庭生活、そして学校生活はまさにジェンダー・イシュー・が生成する根源的な場である。

ジェンダーが文化的につくられたものだとして「排除」しようとする「動き」が危険だとする考えを問題にしたい。

それは子ども文化のありかたをも占うものとなる。

ラウンドテーブル 4

6月12日(土)

15:40 17:40

207 教室

教育紙芝居と街頭紙芝居

コーディネータ 堀田 穰(京都学園大学)

毎年学会という場で紙芝居を研究したり、実践したりしている者が集まって交流をしていくということで岡山、つくばに続いて3回目になる。

九州福岡では、福岡県立図書館に紙芝居のコレクションがある。浮羽町二葉幼稚園旧蔵のもので、古いものは昭和15年の高橋五山の全甲社の紙芝居がある。また、飯塚市歴史資料館には街頭紙芝居のコレクションがある。かつての炭鉱町で愛された絵元、吉住信勇氏のものである。これらを話題に、対立的存在だった教育紙芝居と街頭紙芝居の新しいあり方を語り合えたらと考えている。

研究発表

1 部会

6月13日(日)

9:30 12:00

102 教室

育 児

司 会 近藤 大生(大阪教育大学名誉教授)
松浦 勲(九州工業大学)

9:30 - 9:55

勉強と子育て

- 50~60年代教育相談の内容分析から -

李 貞淑(横浜市立大学大学院)

9:55 - 10:20

多文化保育に関する大学生の意識改革の研究

三井 真紀(東京福祉大学)

10:20 - 10:45

母子ワンペアレント・ファミリーの社会的ネットワーク

渡部 晃正(桜花学園大学)

10:45 - 11:10

幼稚園におけるプロジェクト・スペクトラムの導入は保育者に何をもたらすのか?

中坪 史典(琉球大学)

平良 牧子(琉球大学科目等履修生)

11:10 -

総括討論

研究発表

2部会

6月13日(日)

9:30 12:00

202 教室

子ども理解

司 会 萩原 元昭(東京福祉大学)
田中 亨胤(兵庫教育大学)

- 9:30 - 9:55 子ども像の世代間分析
中村 真弓(九州大学大学院)
- 9:55 - 10:20 子ども観における情緒的側面と世代差
溝田めぐみ(九州大学大学院)
- 10:20 - 10:45 映像メディアによる幼児のファンタジー世界のあり方について
122
高橋 健介(松山東雲短期大学)
- 10:45 - 11:10 「児童文化」の論じ方について
- おとな-子ども関係の変貌の中で -
小川 博久(日本女子大学)
- 11:10 - 総括討論

研究発表

3部会

6月13日(日)

9:30 12:00

203 教室

子どもたちの世界

司 会 新井 真人(秋田大学)
太田 佳光(愛媛大学)

9:30 - 9:55

現代の子ども像

- 子どもについての認識 -

横山 卓(福岡女子短期大学)

9:55 - 10:20

子どもの遊びに関するイメージ

住田 正樹(九州大学)

中田 周作(広島国際大学)

10:20 - 10:45

投書欄に見る現代の子ども社会

元森絵里子(東京大学大学院)

10:45 - 11:10

子どもの道徳的社会行動と道徳教育に関する日韓比較調査研究

132

伴 恒信(鳴門教育大学)

瀬尾 真未(鳴門教育大学大学院)

11:10 -

総括討論

研究発表

4部会

6月13日(日)

9:30 12:00

204 教室

学 校

司 会 山田 富秋(京都精華大学)
相原 次男(山口県立大学)

9:30 - 9:55 授業における子どもの多角的時間経験
- 物語的エピソード記録の可能性 -
守山紗弥加(奈良女子大学大学院)

9:55 - 10:20 受験と子どもたち
澤野 千絵(大阪大学大学院)

10:20 - 10:45 高校生の進路意識
西田亜希子(大阪大学大学院)

10:45 - 11:10 帰国者および外国人子女の適応と日本語教育問題について
周 建中(東京成徳大学)

11:10 - 総括討論

公開シンポジウム

6月13日(日)

13:20~16:00

大講義室

子どもは変わったか

主催 日本子ども社会学会

後援 福岡県教育委員会

福岡市教育委員会

司会：武内 清 (上智大学)

原田 彰 (呉 大学)

【パネリスト】

本田 和子 お茶の水女子大学 学長 児童文化論

小嶋 秀夫 京都学園大学 教授 発達心理学

深谷 昌志 東京成徳大学 教授 教育社会学

【指定討論者】

山本 清洋 鹿児島大学 教授 体育学

われわれは、これまで子どもを自明のものとして見てきた。無邪気、無垢、無知、無力、純粹、未成熟など子どもをイメージする常識的な言葉のなかに現実の子どもの姿を見てきた。しかしいつからかそうした常識的な言葉の持つイメージのなかに現実の子どもの姿を見出すことはできなくなってしまった。かつて言葉の持つイメージ通りであったはずの子どもはすっかり変わってしまい、われわれは、常識的な子どものイメージと現実の子どもとのギャップに戸惑い、理解できずに不安に陥っている。

しかしそれは子どもだけの変化なのか、それとも大人の見方が変わったのか。あるいは子どもと大人の関係のあり方が変わったのか、はたまた社会が変わったのか。子どもが変わったという事態をわれわれはどのように考えたらよいのだろう。子どもをどのように捉えればよいのだろう。一体子どもの世界には何が起こっているのだろう。

このシンポジウムでは、子どもはどう変わったのか、子どもをどう捉えればよいのか。そしてこれから、われわれ大人は現実の子どもとどのような関係をどのように築いていけばよいのかを考えてみたい。